



緑小だより(臨時号)

令和4年2月 日
墨田区立緑小学校
校長 近藤 幸弘

家庭数配布

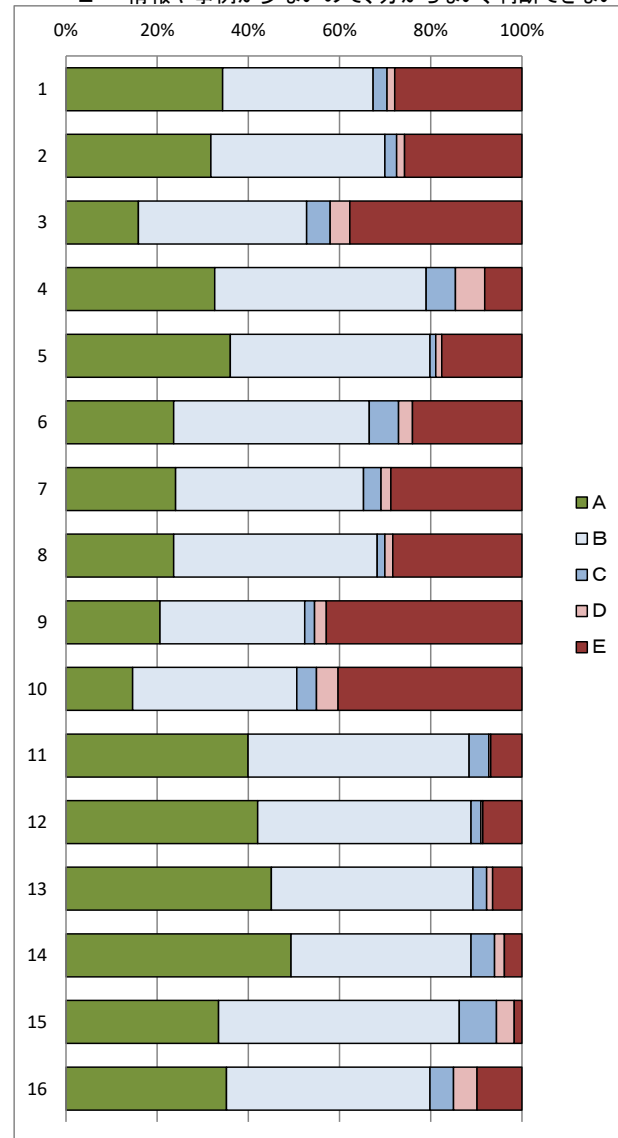
令和3年度 緑小学校 学校評価アンケート集計結果

集計総数 233
提出割合 56%

日頃より、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。
1月中旬から皆様にご協力いただいた評価の結果をお知らせします。
令和4年度の本校の教育活動に活かしていきたいと思えます。
今年度は、COCOOを使用した形式で行わせていただきました。学校評価へのご協力ありがとうございました。

- A・・・そう思う
- B・・・どちらかという、そう思う
- C・・・どちらかという、そう思わない
- D・・・そう思わない
- E・・・情報や事例が少ないので、分からない、判断できない

各教科指導等	1	グループ活動や話し合いの場面では、タブレット端末を活用して、自分とは異なる思いや考えを知り、自分の考えに自信をもったり、見方を変えたりするなど、考える力の向上を図る授業が行われている。
	2	ICT機器の活用や学習形態、教材の工夫などの授業改善により、子供たちが主体的に学習に取り組む授業が行われている。
	3	授業中や家庭学習で振り返りや放課後のすみだチャレンジ教室を通して、個に応じた学習、基礎学習の定着が図られている。
	4	学校司書やMBC7による読書環境の整備、「家読」(親子読書)など読書活動の推進により、子供たちの読書に対する意欲向上が図られている。
	5	地域人材や企業を活用した授業を推進している。(緑小コミュニティコンサート、文化プログラム、認知症サポーター養成講座、SNS指導など)
生活指導等	6	年3回のアンケートや年2回のアイチェック等から子供の思いや考えを捉え、保護者との連携を図り、いじめや不登校の予防、早期発見、早期解決を行っている。
	7	いじめ防止授業地域公開講座、道徳授業地区公開講座などを通して、心の教育を推進している。(授業は実施、公開はなし)
	8	「みどりスタンダード」を基に、基本的な生活習慣、規範意識の向上を図っている。
	9	ペア学年活動や「かくかくタイム」を通して、友達と協力したり、頑張りを認めたり、より良い人間関係を築く取組を行っている。(手紙を通しての活動など)
	10	近隣の幼稚園、保育園、小学校、中学校との作品交流を通して、温かな人間関係を大切に作る豊かな心を育てている。
学校管理運営等	1	教育環境の整備や施設の安全管理に努めている。
	2	引き取り訓練や避難訓練など安全対策をとっている。(三密を避けての実施)
家庭地域連携等	1	学校公開、運動会、学習発表会などの行事を通して日常の教育活動の様子を伝える取組が行われている。
	4	緑小ホームページ、学年・学校だよりで、学校の様子を分かりやすく伝えている。
	5	教員と保護者、保護者同士、地域が連携し、協力して児童を育成する風土が作られている。



※自由意見について

様々なご意見ありがとうございました。児童にとって良い学校となるように、改善点の検討を行っていきます。

今年度は、40件ほどの声が届きました。感謝や激励の声が多く、励みとなりました。

1～5 各教科指導について

今年度も新型コロナウイルス感染症への対策のために、学校での子供たちの様子を見ていただく機会が限られてしまいました。回答に、Eの「判断できない」が多くありますが、どの項目でも昨年度より否定的な回答が減少しました。運動会や10月の学校公開、学習発表会など、少しではありましたがご覧に入れられたことが結果に現れました。

項目3の基礎基本の定着に関しては、Eの回答が増加しました。夏のサマースクール(補習教室)や放課後チャレンジ教室などは募集の仕方が限定的なため、なかなか全体にお知らせすることができていませんが、学校では日々の学習の中で振り返りの時間を取りプリント学習などで定着を図るようにしています。タブレット端末にある「ミライシード」にも取り組んでいます。ご家庭でもご活用ください。また、タブレット端末に関して、今年度リモートでの朝の会や感染予防・感染不安で学校に登校できない児童に対してロイロノートを活用した学習の提供、タブレット端末を使った学年全体での授業など活用の幅を広げていっています。対面での授業を基本としますが、リモートでの授業の準備もしていきます。

5の地域人材の活用に関しては、110周年を記念した新日本フィルハーモニー交響楽団による「コミュニティコンサート」やオリンピック・パラリンピック教育の一環として行った「文化プログラム」など、多くの活動を感染防止対策をしながら行うことができたことで、肯定的な回答を8割いただくことができました。児童の学習がより深まるよう、

6～11 生活指導について

いじめ対策に関して、否定的な回答が減少しました。児童が安心して学校生活を送ることができるように、年3回のアンケート、年2回のアイチェックを児童に対して実施し、そこで得た情報をもとに聞き取りをするようにしています。児童へ「いじめをしない」とどのように伝えているか授業をお見せする機会がなかったのが残念ですが、引き続き、「学校いじめ防止基本方針」を基に「いじめは絶対にゆるさない」という姿勢を学校全体で周知し、未然防止・早期発見・早期解決に努めていきます。

項目9、10では、Eの回答が半数近くとなっています。今年度も、幼保小中と連携した活動や「ペア学年活動」のような異学年との活動は映像を使った交流程度しかできませんでした。より良い人間関係を築いていくには、こうした活動が大切であると捉えています。今まで築いてきた活動が風化しないようにするとともに、新しい生活様式の中で、よりよい活動になるように工夫・計画していきます。

12～16 学校管理、地域連携について

新型コロナウイルス感染症への対策のために様々な行事が、元の計画から変更を余儀なくされ、満足のいく形でお見せすることができずに残念に思っています。他校と比べて厳しいというご意見をいただいておりますが、方が一のことを考えてのことですので、ご了承ください。

次年度に関しても、そのときの判断をしっかり行い、感染予防に配慮しながら、できる限り実施していきます。

子供たちが安全に活動できるよう環境整備、維持に努めていきます。

項目15では、肯定的な回答を多くいただきました。年度途中でCOCOO(メール配信システム)への変更がありましたが、登録等のご協力ありがとうございました。昨年度同様活動が制限される中で、ホームページに児童の様子を載せてほしいという意見を多数いただきました。報告や連絡が多くなってしまい、なかなか児童の様子を伝えることができ